

【① 共通】(共通能力ユニット) ※基準詳細は「別紙1」参照

能力ユニット	能力細目	職務遂行のための基準		自己評価	上司評価	コメント
1.企業倫理とコンプライアンス	①介護保険法、関係法令、諸ルールの内容の把握	共通	1 会社の理念や諸規程、組織に関する基本事項、ケアスタッフとしての職業倫理、介護保険法やサービス内容について把握している。			
	②介護保険法、関係法令、諸ルールの遵守	共通	2 職業人としての自覚を持ち、会社の理念や諸規程、法律やルールを遵守した行動を取っている。			
2.チームワークとコミュニケーション	①上位者や同僚との連携による職務の遂行	共通	3 適切に上位者に報告・連絡・相談し、サービス品質の向上に努め、チームメンバーとも連携・協力しながら業務を遂行している。			
	②他部門との連携による職務の遂行	共通	4 関連各部署の業務内容や自部門との連携の重要性を理解し、必要に応じて良好な連携をとっている。			
3.外部、関係機関との連携	①外部との連携、ネットワークづくり	共通	5 外部の担当者会議に出席し、ケースについての状況報告や問題提起を適切に行っているほか、他事業所のケアスタッフと日常的に良好な連絡・調整を行っている。また、感染症、認知症、虐待などに関して、上位者へ相談の上、関連部署と連携している。			
	②緊急時対応	共通	6 緊急の際は、上位者の指示やマニュアルに従って、利用者家族、ケアマネジャー、消防、警察等に対する連絡を適切に行っている。			
4.目標管理	①目標設定	共通	7 全社、事業所、事務間の目標・方針、介護サービスのスキルレベルの向上などに対して、上位者の助言や指導を受けて、目標を適切に設定している。			
	②進捗管理	共通	8 自ら立てた目標の達成に向けて自己研鑽を行い、定期的に進捗状況をチェックしているほか、情勢変化で達成の見通しが難しくなった場合は、上位者の助言を受けて、目標の見直しを行っている。			
	③成果の検証	共通	9 目標の達成度、および成果や実績について、結果だけでなくプロセスも検証し、次の目標設定に活かしている。			
5.利用者の安全確保、トラブルの未然防止	①サービス提供時におけるリスクの理解	共通	10 想定されるリスクを理解し、問題を未然に防ぐため、会社が講じている施策を理解しているほか、過去のトラブル事例を把握している。			
	②利用者の安全確保のための対応	共通	11 利用者情報の機密性を理解して業務に取り組んでいる。また、起こりそうなるリスクや起きてしまったトラブル、ヒヤリ・ハットを適切に上位者に報告・連絡・相談しているほか、屋内外の不安全状態にも気を配り、問題があれば直ちに解決している。			

【② 訪問介護】(選択能力ユニット)

能力ユニット	能力細目	職務遂行のための基準		自己評価	上司評価	コメント
1.初回サービスのための準備	①利用者基本情報の把握	共通	12 事前に、利用者の基本情報やケアの手順、ケアを行う上での留意点等の事項を確認している。			
			13 サービスを実施する上で、不明な点や疑問点をその場で確認し、あいまいな点を残さないようにしている。			
			14 重要なポイントやあいまいだった点はメモをし、業務を確実に遂行できるよう留意している。			
	②サービスの実施手順の確認	共通	15 事前に、サービスの実施手順を「訪問介護計画」や「手順書」に基づき確実に確認している。			
			16 サービス提供責任者または常勤ヘルパーの指導のもと、利用者宅においてサービス実施手順を確実に確認しながら、引き継ぎを受けている。			
2.訪問介護サービスの実施	①介護サービス実施のための事前準備	共通	17 サービスを実施する上で、不明な点や疑問点をその場で確認し、あいまいな点を残さないようにしている。			
			18 重要なポイントやあいまいだった点はメモをし、業務を確実に遂行できるよう留意している。			
			19 初めて訪問する場合は、サービス提供責任者または常勤ヘルパーとの待ち合わせ場所や時間を確実に確認している。			
			20 サービス実施のための準備を適切に行っている(利用者への訪問日時のご案内等)。			
			21 利用者の最近の身体状況について上位者・同僚や家族に確認し、これを踏まえてサービスの準備を行っている。			
			22 利用者の状況や介護実施上の留意点について、他のケアスタッフとの間で適切に申し受け・申し送りを行っている(仕事の引継ぎを適切に行っている)。			
			23 サービスに必要な物品(エプロン、筆記用具、消毒液等)を確実に準備している。			
	②サービス実施	L.3	24 事業所で定められた基準に沿った服装・身だしなみをしている(ex.動きやすい、失礼にあたらぬ、好感が持てる、清潔である等)。			
			25 利用者宅までの移動手段、移動時間を事前に確認し、余裕を持って到着するようにしている。			
			26 感染症予防のため、サービス開始前(排せつ介助、外出後、調理前等)に手指の消毒をするなど、対応を行っている。			
③サービス実施後の記録・報告	L.2-3	L.3	27 利用者宅に着き、これからサービスを開始する旨の連絡を、事業所に対し確実にしている。			
			28 幅広い実務知識と経験を有し、利用者の自立支援とQOL(Quality of Life=生活の質)向上(ex.できなかったことができるようになる、安全・快適な生活を送ることができる、地域社会とのつながりやより良い人間関係を持つことができる等)のために、利用者の状況に応じた適切なサービスを実施し、生活を支援している。			
			29 決められた内容のサービスを、限られた時間内で段取り良く、効率的・効果的に実施している。			
			30 難易度が極めて高い利用者(ex.拒否が多い、家族の対応が難しい、コミュニケーション上の障害がある、重度の認知症等の困難ケース)についても、状態に応じた適切な介護技術で対応している。			
			31 利用者の対応が必要な異変について見落とさず、どのような対応が必要かを考え、上位者に相談・提案できる。			
			32 緊急事態や異変が発生した場合は、対応のルールに基づき、迅速・適確に対応するとともに、利用者や家族に対し、冷静な態度で不安を与えることなく対応している。			
			33 常に利用者の安全(転倒による怪我や骨折等の防止)や安楽(音、光、換気・空調、清潔等)に気を配りながら、サービスを実施している。また、起こりうるリスクを踏まえて、サービスの段取り・手順を考えて実施している。			
			34 利用者や利用者家族のニーズや思い等を察し、声かけや励まし、目標を持ってもらう等、生きる意欲を引き出している。			
			35 介護職として、利用者や利用者家族との関わり方の基本を理解し、良好な関係を築いている。家族の抱える悩みや介護負担等を理解し、適切に対応している。			
			36 何でもヘルパーがやってあげるのではなく、利用者の自立支援(自分ができるようにすること)を目指したケアを心がけ、実施している。			
③サービス実施後の記録・報告	L.2-3	L.3	37 ケース・カンファレンス(サービス担当者会議)等のミーティングに参加し、収集した情報等に基づき、医師や看護師等の医療職など、他職種に対しても、提案している。			
			38 サービスが終了した旨の連絡を事業所に対し確実にしている。			
			39 必要事項を連絡帳に漏れなく、わかりやすく記入している。			
			40 記録の機能や活用方法を理解し、介護の方法、根拠、利用者の状況等がわかるように、サービスの実施記録を記入している。			
			41 必要に応じ、サービス提供責任者や管理者に適切な連絡・相談・報告をしている。			

【② 訪問介護】(選択能力ユニット)

能力ユニット	能力細目	職務遂行のための基準		自己評価	上司評価	コメント	
3.サービスの検証	①サービスの振り返り、自己評価	共通	42	訪問介護計画の目的を理解し、計画に対する実施結果について振り返り、問題点や改善点を把握し、適確に上司に報告している。			
			43	自分自身、介護職としてうまくいったこと、いかなかったことの背景や原因を分析し、次の業務に活かしている。			
			44	ミーティングやカンファレンス、上司への報告・連絡・相談等の機会を利用して、提供したサービスの内容や、ケアのやり方について検証し、自身の介護サービスの質を高めようと努めている。			
	②ケアのやり方等サービス向上に向けた提案	L.3	45	サービスの向上・改善に向けて、利用者情報の報告・連絡・相談の徹底など、周囲と連携して取り組んでいる。			
			46	自己の介護サービスの質を高めるべく、指示を踏まえて勉強し、着実に習得している。			
			47	ミーティングやカンファレンス、上司への報告・連絡・相談等の機会を利用して、利用者の状況に合ったケアのやり方や工夫等について、情報を共有するとともに、ケアチームの中で、問題提起や新たな提案をしている。			
4.利用者への情報提供	①利用者に対する情報提供	共通	50	利用者や家族に対し、自社のサービスに関するパンフレット等により必要な情報提供を確実にしている。			
			51	利用者や家族に対して、地域社会資源の状況(フォーマルサービス、インフォーマルサービス等)についての、必要な情報提供を行っている。			
	②介護に関する利用者からの相談に対する対応	共通	52	日頃から、利用者や家族との相談窓口として、気軽に相談しやすい雰囲気を作り、親身になって対応している。			
			53	答えられないことや、わからないことには、その旨を相談者に伝え、正確な情報を確認後伝えている。			
			54	利用者からの相談内容は、事業所に正確に報告をし、橋渡しを適確にしている。			
			55	利用者に変化がないか観察し、異変に気づいたときは、速やかに上位者に報告したうえで、必要に即して家族に連絡している。			
5.スタッフの指導・育成	①ケアのスーパーバイズ、スキル指導	L.3	56	介護の現場において、ケアスタッフの介護スキルや利用者とのコミュニケーションのとり方等について、レベルを把握し、客観的な立場で指導やアドバイスを適切に行っている。			
		L.3	57	現場での創意工夫や良い取り組みについては、ほめ、勇気づけ、後押しをしている。			
		L.3	58	現場での問題解決や業務改善のために、現場への問題提起、問いかけ、働きかけを適切に行っている。			
	②メンタルヘルス	L.3	59	ケアスタッフの悩み等の相談窓口となり、スタッフが一人で悩みを抱え込まないよう、動機づけや後押しを適切に行っている。			
L.3		60	ケアスタッフの窓口として、管理者等との橋渡しを適切に行っている。				

【③ 訪問介護(技術)】(選択能力ユニット) ※基準詳細は「別紙2」参照

能力ユニット	能力細目	自己評価	上司評価	コメント	
1.移動・移乗介助、体位交換、外出介助	61	①移動・移乗の準備			
	62	②移動・移乗			
	63	③移動・移乗後の介助			
	64	④体位交換			
	65	⑤通院・外出介助			
2.食事介助	66	①食事の準備			
	67	②食事介助			
	68	③食後の介助			
3.入浴介助	69	①入浴準備			
	70	②入浴			
	71	③入浴後の介助			
4.排泄介助	72	①排泄準備			
	73	②排泄			
	74	③排泄後の介助			
5.身体整容	75	①更衣介助			
	76	②整容介助			
	77	③口腔ケア			
6.調理	78	①調理準備			
	79	②調理			
	80	③後片づけ			
7.洗濯	81	①洗濯準備			
	82	②洗濯			
	83	③乾燥・収納			
8.掃除	84	①掃除準備			
	85	②掃除			
	86	③後片づけ			
9.買い物代行	87	①買物代行			

【評価の基準】

- ：一人でできている(下位者に教えることができるレベル含む)
- △：ほぼ一人でできている(一部、上位者・周囲の助けが必要なレベル)
- ×：できていない(常に上位者・周囲の助けが必要なレベル)

自己評価集計	上司評価集計	上司評価合計数にしめる割合
○の数		%
△の数		%
×の数		%
○△×の合計数		